

# なおしタル NFJ

「NAOSHITARU NFJ」

**なおしタル NFJ** は、ポロプロピレン短繊維を混入することで高い曲げ靱性性能を持つプレミックスタイプの断面修復・表面被覆モルタル材です。使用時に所定量の水を加えて、練混ぜることにより使用できる高性能・、高耐久高靱性モルタルです。高い曲げ靱性性能があるため、さまざまな施工部位の補修・補強・表面被覆に使用することができます。

## 特 長

1. 高い曲げ靱性性能を有しています。
2. 吹付け工法、左官工法、いずれの施工方法も用いることができます。
3. 凍結融解、中性化等耐久性に優れています。
4. 施工直後のひび割れ抵抗性が高く、長期においても高い無収縮性を有しています。

## 用 途

- 水路・暗渠・頭首工等の表面被覆・補修・補強
- トンネル・橋梁等RC構造物の補修・補強
- 法面の補修・補強・表面被覆

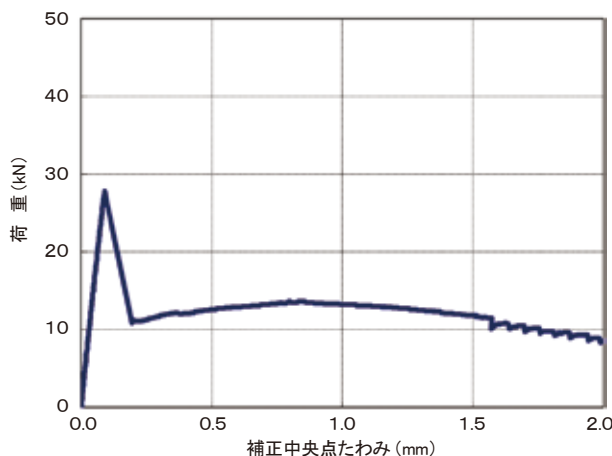
## 仕 様

1袋あたりの練上り量			1㎡あたりの使用量	
「なおしタルNFJ」 (kg)	水 (kg) ※1	練上り量 (ℓ)	「なおしタルNFJ」 (kg)	水 (kg)
20	3.2 (2.9～3.5)	約10.5	1900kg (20kg×95袋)	304

※1 練り混ぜ水量は、環境温度、施工方法により、変動します。



曲げタフネス試験



曲げ靱性性能

## 施工方法

1. 施工する面は、脆弱部を取り除き粗面処理とし(開水路は高圧洗浄等)、粉分、油分等を除去し、プライマーを用いて下地吸水調整をしてください。
2. 剥落防止対策は、施主・設計の指示に従い行ってください。
3. 鉄筋が腐食している場合は、適切な防錆処理を行ったのち施工してください。
4. 練混ぜはハンドミキサーまたはパン型ミキサーを用い、練混ぜ時間 120 ~ 180 秒を目安に練混ぜ、左官工法または湿式吹き付け工法で施工してください。
5. 仕上げには、コテ仕上げ助剤・養生剤を使用し、施工後は適切な養生を行ってください。

## 物性試験例

水量 (kg/袋)	練上り 温度 (°C)	モルタル スランプ (mm)	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )						付着 強度 <sup>※1</sup> (N/mm <sup>2</sup> )	曲げ靱性係数 <sup>※2</sup> (PP 0.75Vol%) (N/mm <sup>2</sup> )	長さ 変化 <sup>※3</sup>	凍結融解 (300 <sup>回</sup> 後の 相対動弾性係数) (%)
			標準養生		20°C湿度60%気中養生							
			7日	28日	1日	3日	7日	28日			28日	
3.2	20	62	52.4	67.2	15.2	39.3	56.0	73.2	2.29	3.40	-382×10 <sup>-6</sup>	94

※1 JSCE-K 561-2013 コンクリート構造物用断面修復材の試験方法 (案) 5.8付着強度による

※2 JSCE-G552 鋼繊維補強コンクリートの曲げ強度および曲げタフネス試験方法 (案) による

※3 JIS A 1129モルタルおよびコンクリートの長さ変化試験方法 供試体作成後、翌日基長にて測定。

## 使用上の注意事項

1. 水量は、環境温度、施工方法に応じて試験練りを実施の上、決定してください。また、練混ぜ水には上水道水またはこれに準じた水を使用してください。なお、「**なおしタルNFJ**」の目視での柔らかさは、通常のもルタルに比べ、やや硬く見えますのでご注意ください。
2. 本製品の保管方法は、セメントと同様に保管し、破損した袋の製品は使用しないでください。
3. 取扱いおよび施工には、必ず、防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護用具を着用してください。
4. 本製品が目に入った場合、皮膚に付着した場合は、速やかに洗浄し、専門医の診察を受けてください。

## 包装形態

20kg 入 防湿袋

# なおしタル工法研究会



株式会社ニューテック

〒174-0056 東京都板橋区志村1-2-9

TEL 03-5918-9688 FAX 03-5918-9687

<http://www.kknewtech.co.jp/> E-mail [info@kknewtech.co.jp](mailto:info@kknewtech.co.jp)